



編集発行
羽津北小学校
PTA広報部
印刷
阿竹印刷工業(株)

第 11 号

充実した夏休みを

校長安達 正秋

早いものです。開校一年目の一学期も終り、子供達にとっては待望の夏休みがやってきました。本年も、プール利用や地区補導等につきまして、格別のご配慮をいただくことになりました。厚くお礼を申し上げます。

さて、夏休みはなぜあるのか。暑さのきびしい時に、学校の授業をやっても効果があがらない。健康にもよくない。ただそれだけでしょうか。学校生活から開放し、平素の学校生活では得がたい経験や知識見聞を広め、豊かな情操を身につけるよい機会であるといふことを考えていただきたいと思います。

「自主的な生活態度を身につける。」
「やむを得ず」と一学期中にせつかに身につけた生活の規則的なりズムが乱れてまいります。そのリズムの乱れが一学期の学習意欲の減退につながり、今後の心身の変容に大きく影響してきます。子供に対し、自ら生活する無理のない計画を考えさせ

昭和57年度と昭和23年度の体格の比較

(学校保健統計調査)

区分	身長 (cm)			体重 (kg)				
	昭和57年度	昭和23年度	差	昭和57年度	昭和23年度	差		
男	小学校	6	115.9	108.1	7.8	20.9	18.4	2.5
		7	121.5	112.8	8.7	23.3	20.1	3.2
		8	127.0	117.4	9.6	26.1	22.0	4.1
		9	132.2	121.9	10.3	29.1	24.0	5.1
		10	137.3	126.1	11.2	32.3	26.0	6.3
	11	142.8	130.4	12.4	36.1	28.2	7.9	
	中学校	12	149.8	135.0	14.8	41.4	31.4	10.0
		13	157.3	139.8	17.5	47.1	34.5	12.6
		14	163.6	146.0	17.6	52.6	38.9	13.7
	高等学校	15	167.1	152.7	14.4	57.1	44.0	13.1
		16	169.2	157.9	11.3	59.4	48.7	10.7
17		170.1	160.6	9.5	60.9	51.7	9.2	
女	小学校	6	115.2	107.3	7.9	20.5	17.9	2.6
		7	120.8	111.9	8.9	22.8	19.5	3.3
		8	126.3	116.4	9.9	25.6	21.3	4.3
		9	132.0	121.0	11.0	28.8	23.4	5.4
		10	138.3	125.7	12.6	32.6	25.6	7.0
	11	145.0	130.6	14.4	37.4	28.2	9.2	
	中学校	12	150.6	136.1	14.5	42.5	32.2	10.3
		13	154.2	141.1	13.1	46.5	35.9	10.6
		14	156.0	145.6	10.4	49.5	40.1	9.4
	高等学校	15	156.6	149.1	7.5	51.7	43.9	7.8
		16	157.3	151.3	6.0	52.5	47.2	5.3
17		157.3	152.1	5.2	52.4	49.1	3.3	

てやってみてください。
「一、」家族の一員としての役割を自覚し、協力的な生活をおくろむ。
ひとつの家庭には、子供、両親、老人、それぞれ年齢や考え方の違った人間が、毎日日々、ひとつの家の中で暮らしてあります。いい家庭を作っていくためには、まず何よりも「お互い認め合う。一受容」ということではないかと思えます。そこに、子供は子供なりに家族の一員としての自覚、気の張りが合がでてまいります。何が適当な役割分担を共に考えてやってみていただきたいと思えます。

三、「健康の増進をはかる。」
今、伸び盛りです。最近の子供の体位は、著しく向上しています。(別表参照)ところが体力は体位に比して向上していません。ウツの木では困ります。この機会に積極的な体力づくりを考えてやってみてください。健康診断の結果、連絡を受けた疾病を治療するにもよい機会です。なお、休みには「いそいそお自転車に乗ることが多くなります。子供の交通に対する視野はまことにせまいものです。身をもって交通ルールを覚えてやってみていただきたいと思えます。
四、「学業不振の打開につとめる。」
これも自ら取り組む姿勢が必要で、不得意な科目を毎日日々復習し、それがわかってきたときの喜びを体験させたいものです。

です。(親の口やかましい無理強いを勉強嫌いにさせるだけで、マンガのみでなく、もっとまとまった単行本や全集書を読み上げるにもよい機会です。
夏休みが終わると子供達は「夏休みが終ると学校へ出てまいります。しかし、なかには夏休み中のリズムな生活や勝手気ままな生活のため、新しく始まる一学期の学校生活について行けなくなり、それが非行の遠因ともなっております。
学校では、各学級担任より、夏休みの有効な過ごし方について、きめ細かく指導をしております。ぜひ、これらのプリントにも目を通していただき、本来の意味の「充実した楽しい夏休み」であつたことの実感、感慨がもてるような休みにしてやってみていただくことを心から念じております。

三年 行事 楽しかった小運動会

学級委員 藤山 まゆみ



三年生になって初めての学年行事が、六月二十七日体育館で行なわれました。
題して「小運動会」
ラジオ体操に始まって、ジャンケンチャンピオン、親子クラス対抗リレー、ジエン力で踊ろうと、いろいろ楽しんだ後、ラジオ体操で締めくくり約一時間余りを、久しぶりに親子で思いやり楽しみました。

ラジオ体操等は、子供の方ずつと上手で、親の私達は子供のしぐさを見ながら、又昔を懐かしみながらついていくのがやつとでした。
親子クラス対抗リレーでは、久しぶりに親子で大声をあげ声援し、又マツトの上のでんぐり返しで、あらぬ方向へ転がってしまふ姿や、平均台をくぐる時に、背中だけ残ってしまふ姿が、つとて面白かったです。
ついたりしながらも、子供と共に踊り、とても楽しい意義のある小運動会でした。
あいにこの梅雨空でしたが、家路に帰る心はとも晴れ晴れとして、心くらはぎの軽い痛みさえも心地よく感じました。
プログラムを組んで下さった先生方に感謝するとともに、又の機会があればもう一度開催していただきたいと思えます。

植物園

銀閣寺

羽津北小

法隆寺

平城宮址

春日大社

二・三月堂

金閣寺

二条城

清水寺

東大寺

古都を訪ねて

—楽しかった修学旅行—



平城宮址
二組 塩谷 朗夫

ぼくたちは、修学旅行の時、平城宮址を見学しました。

博物館に入ったら、宮でんのはしや金貝や銭などいろいろな物が置いてありました。平城宮のもけいをみたら、ものすごくうつくしい建物でした。

「だけ、うつくしいのはな宮でんがどうして昔のままに残されていないのかな」と思いました。それは、きつと「豪族たちの争いのためにこわされたんだな」と思いました。

次の博物館へ行ってみたら大きくて太いはしがあ

りました。そして、赤い色をしたはしがありました。しおりにまじめながら歩いていると、博物館の中に宮でんの建てた跡がありました。ぼくは、おどろきました。どこにもそのような、はしらの跡が、今もたへさんのこつていました。さらに、歩いていくと、まだはしらの跡がありました。これを全部、復元したらどんなに大きな建物になるのでしょうか。



新京極

三組 森 かよ

修学旅行で、二カ所、シヨツピンクをした。新京極の方が、きれいでよかったです。約一時間買い物。私たちは、あまり遠くへは、行かなかつたけど、よいおみやげがいっぱいあった。

ほかの小中学生が、来ていた。小学生で、制服を着ている子を見て、

「私、制服のある学校じゃなくてよかったです。」

と、何度か思った。

私は、大失敗をしたんです。妹のおみやげを、わすれてしまったのです。妹に、おこられて、おこられて、おこつたので、五百円残っていたのを、全部、妹に回されて、それをしてしまった。

一番始めに、妹のをさがしていましたが、ちよつとみつからなかつたもので、ほかの物を買っていいんです。それなら、ぼくは、わすれてしまつて、

「だつめだね。」

でも、もつとお金が、もつていたら、買いたい物もつと買えたのに、いいなア、と思うの、いっぱいあったもん。

あ、そうそう、帰りがけに、雨があたつてきたのは、残ねん。

でもまた、新京極だけ、友達と行きたいと思う。



大仏様を見て

一組 加藤 光代

一番印しように残つたのは、奈良の大仏です。いままでは、本やテレビで見ただけなので、実物の大きさは想像もつきませんでした。大仏の前に立つた時は、「本当に大仏さまの前にいるのかな」と思いました。

大仏さまの周りの物は、何もかも、すごく大きいです。はしらがものすごく太くて、なかには、はしらに、トンネルみたいな、一、二年生が通れるぐらいのあなが、あいていました。

先生の話を、本などで、調べたら、前の大仏は火でやけて、今の大仏の大きさは、前の大仏に比べて、小さいということがわかりました。前の大仏の大きさは、想像もつきません。

大きい大仏さんであるだけ、建物も大きく、土地も広いです。

大仏のある建物の門に、大きな入れ物に、おせんこうをもちやしてあつて、そのけむりをかぶると、かしくなると聞いたことがあるので、かぶりました。でも、あれからぜんぜん、効果が上がりません。



清水寺

三組 近藤 康子

階段をのぼつて行くところの方に、京都の町がひらけ、ひとときわく、京都タワーが見えました。タワーの高さは、三三三メートル。なぜ、三三三メートルかというと、京都タワーを造つた時の人口が、一三三万人だったからです。

門を入つていくと、おしやかさまの足あとがあつて、それにさわると足が速くなるのです。だから私もさわりました。

次の所には、げたみたいな物があつて、持つてみようと思いましたが、残念ながら持ってませんでした。

本堂に入つて舞台から下を見ると、すごく高く、手や足がガクガクしてききました。しかし、新緑が大へんきれいでした。

この舞台は、けやきの木を三三本も使い、釘を一本も使わずに組み立てたので、「地獄とめ」とよばれています。

階段を降りていくと、三つの水が出ていました。その一つ一つには、願いがこめられています。その水を飲むと、「健康になり、幸福になり、かしくなる」といふことです。これをまて、「首羽の滝」といふそうです。私は、「幸福になる」といふところを、飲みたいです。

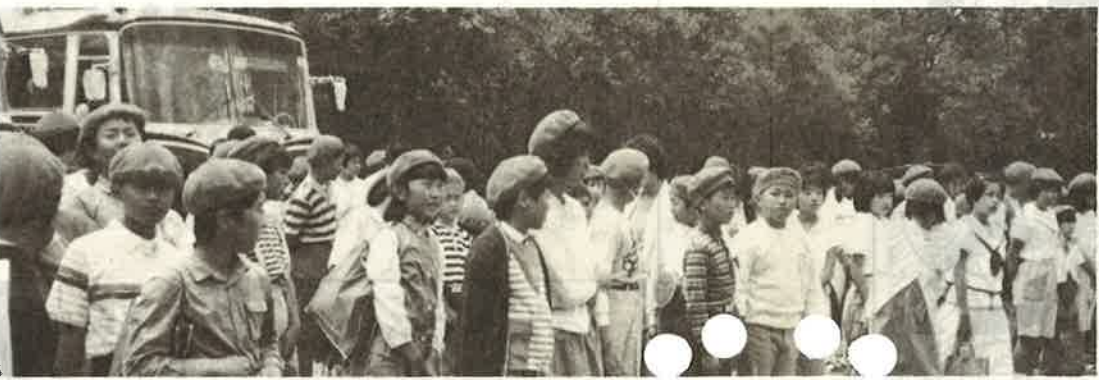
修学旅行、第一日目の見学はあと、三十三間堂だけです。とても楽しくて、あんまり時間がたつてもいいくない気持ちで、いっぱいでした。

みんなうっとり金閣寺

一組 伊藤 江美

金閣寺は、一番の目撃しました。初めてで、一番楽しみにしていたところだけあつて、やはり心に残つたのは金閣寺でした。少し残念だったことは写真で見ただけきれいでないことです。これはどこでも同じでした。古いから仕方ないと思います。でも金が光にあたつてきらきらしているところなどは想像以上でした。こんな建物を造らせた足利義満はどんな生活だったか考えてみました。きつとすごいせいたくだったの

でしょう。説明を聞くこと



の金は、二十一金だそうなんです。すごくびっくりしました。

もう一つ残念なことは中に入れた前のごとですが、そのことが今でもやはり残念です。でも、その分とても広くりつばな庭に入れたのでよかったです。

金閣寺は、想像ほど広くはなかつたけど、こんなところだつたら一生あきずに住めるでしょう。そのかわりとてもじゃないけど買えないでしょう。だから見るだけで、私はじゅうぶん満足しました。

今度また行つたら足利義満の気分になつて庭をゆつくり歩いてみたいと思います。



楽しかった旅館

一組 倉橋 直也

旅館についたときは、やつとが、と思った。部屋に入る前に、ドキドキして入ると、思ったよりもまかた。夕食は、ふつとより多く、食べてから新京極へ行った。旅館に帰つて部屋にもぐる



ねる用意があつた。ふとんのうでプロレスをやっていると、ふくをぬきたいくらいあつくなつた。入浴の放送は、「もつすべたな。」と、思ったので、テレビだけにきかえておいた。放送が入るとすべに、つっぱして、急いでぬいでとびこんだ。せんすいなどをして泳いだ。からだも、きちんと洗つた。きもちがよかつた。きれいにふかなかつたせい、ふくを着るのがむつかしかった。で、から、階段を登つていくと、すごくあつ

かた。部屋にもぐるテレビをつける、なるほど、「サ・ワールド」をやつていた。思わずわらつてしまった。見ながらランプをしたりして、とても楽しかった。この旅館での一夜は、小学生生活のいい思い出になるだろう。

三十三間堂

旅館

宇治平等院

☆授業参観と懇談会☆

六月十六日(木)各学年それぞれのテーマにそつて、熱心に話し合いが行われました。いつか一つでも子育てにお役にたてば幸いです。

一 一年生

しつけ・子そだてについて

当日は雨天にもかかわらず多数の出席者で充実した懇談会をもつ事が出来ました。

内容として先生の用意して下さったプリントを元に色々な話を聞きその後、保護者より、
一、児童へのしつけが厳しすぎるのではないか。
二、戸外で十分に遊ばせる事が必要ではないか。
三、親も友達になるように。
四、帰宅時間を守らせる。
等色々な意見が出ました。今後この様な和気あいあいとした懇談会が出来る様に、みな様の御協力をお願いします。

一 一年生

学校での学習と生活の実態について

一年生の時の緊張感から解放され、二年生位から、中絶み状態になり、懇談会の参加者がだんだん少なくなると言う事を聞かされていきました。

一組二十一名、二組十一名、三組十七名といがいだった、多数の参加者に戸惑いながらも幅広く論議が交され、中でも特に大きく取りあげられた事は、
◎家庭学習を習慣づけ、学力を定着させる。
◎基本的な生活習慣を身につけさせる。と言つ事

でした。

その為には親の役割として、子供達が自立できるまでは根気よく励まし、手をさしのべ、暖かく見まもつていく必要があるのではないのでしょうか。
改めて考えさせられ、教訓をいただきました。

一 三年生

子供の友達つきあいについて

学校生活にも慣れ、一番むずかしい時期なので、二年生は「友達つきあい」について四十名弱で色々話し合いました。その結果「大勢で遊ぶ事が出来ない」「他のクラスの人達との交流が少ない」など和気あいあいの中で意見が飛び出しました。また友達への寄り好みはできないので良い友達を選ぶ様に、我々親は適切な助言が必要であります。

友達を大切にすることを養う様な生活指導を親と先生が一語になつて、形作るという結論に達しました。親は友達選びについて「あの子は悪いからとか、良いとか」一方向的な判断で言うのではなく、子供自身で選ぶ事ができる様に又、判断できる様に助言する事ではありませんか。大人も子供も眞の友達の広さが、人間の深さになる事を思つと、今回のテーマは良い問題でした。



一 四年生

学級方針及び親として考えておかなければならないこと

授業参観の時はあんなに狭く感じられた教室もいざ懇談会の場になるとガラツとした雰囲気

に変わつてしまいか寂しい気がします。今回は担任の先生より、学級経営方針について特に重要項目を掲げていただき、その点について話し合いが行われました。中でも学習面・生活面・友達関係等に活発に意見がかわされ、子供達の著しい成長過程を知る事が出来ました。また人の意見を基に反省させられた点や感動した出来事にも触れ、ユーモラスな発言に笑つた一幕もあり、皆んな和やかな雰囲気の中で意見の交換が出来ました。

一 五年生

学年行事について

今年最初の懇談会であつて、どのクラスも多数出席していただき熱心に話し合いがなされた様です。テーマとして「学年行事の反省」について、年一回の参加は賛成、親子で何かを作る運動会・ハイキング他、「先生と気軽に話そう」。子供達の様子、学校の要望、学級の経営方針、夏休について、各クラス先生と共に話し合いが持たれ有意義に過して頂けた事と思ひます。これからも多勢の父兄がこの様

一 六年生

学習面・生活面・友達関係の実態について

授業参観の後、各クラスにおいて、先生を囲んで懇談会が行われました。

先生から子供達の学校での様子を伺いながら話し合いました。学習面では、授業中進んで発表出来る様になり、家庭学習も伸びてきているが、マンガよりもつと読書をして欲しい。忘れものを少なくしたい。あるクラスでは、子供達が生活点検表を毎日つけ少しずつ努力して行つて居るとの報告がありました。友達関係については、色々とおつかしい年令の様です。学校と家庭とが両輪となつて、努力することが大切であると痛切に感じました。



社会見学



七月一日(金曜日)梅雨のあい間の晴れた一日、参加者五〇名で郷土の文化財めぐりに、時間の過ぎるのも忘れたほどでした。垂坂観音寺の慈恵大師坐像、寺方大日寺では四メートル弱の大日如来坐像、小高観音寺の十一面千手観音像など普段は、一般公開されない貴重な文化財を、特別に見せていただき感激致しました。泉民の森で一同楽しい昼食をすませ、室山の亀山製糸工場を見学しました。明治時代の建物でも中は近代化され、爾から生糸が自動的に作られています。

郷土資料庫では、四日市の遺跡の埋蔵物が並べられています。浜田城址の十六面四方自兜鉢も、特別に見せていただきました。

私達の身近にも、こんなにすばらしい史跡があつたのです。皆さんも機会があれば、是非訪ねて下さい。

これらの文化財が、いつまでも大切に保存され、後世に引き継がれることを望みます。

教養部

